

各 位

株式会社 三井住友銀行

頭 取 年 頭 メ ッ セ ー ジ 要 旨

本日、当行 頭取 西川 善文は、全役職員に対して次の趣旨のメッセージを送りましたのでお知らせいたします。

私は、この2004年を当行にとって二つの意味で極めて重要な「勝負の年」と考えている。

第一は、当行の最大の課題である「バランスシートのクリーンアップ」の総仕上げの年であるということ。来年3月末までに不良債権比率を半減するという目標について、できるだけ前倒しで達成し、お客さま、マーケットの信頼を確固たるものにしたい。

第二は、「攻めの経営姿勢」を明確化するということ。その象徴が新たな拠点戦略である。サービス業として個人のお客さまの利便性をより一層追求するため、平日夜間営業や休日営業を拡大し、また、有望な法人マーケットの開拓に向けて、法人拠点を新たに展開する予定である。

我々が「攻めの姿勢」を貫いていくに際しては、「銀行はサービス業である」という原点に立ち返って、少しでもお客さまに喜んで頂こうとする姿勢が何よりも大切であり、日頃から心掛けねばならないのは「お客さまに感動を与える」ということである。ベストの提案を行うことに加えて、お客さまの期待を少しでも上回る工夫と努力、その少しの積み重ねが、お客さまの心を掴むことになるのである。

是非、金融サービス業としてお客さまから最高の信頼を勝ち取るため、このような姿勢を、日々貫いて欲しいと思う。

以 上